

事例報告 H27-1

団体名： 特定非営利活動法人 キッピーフレンズ

プログラム名： NPO法人キッピーフレンズが行っている環境体験学習について		
(1) プログラムの目標	兵庫県が県下の全小学校3年生に対して行っている環境体験学習要項に基づき①命の大切さ、つながりを知る、②自然の美しさに感動する豊かな心を持つ、③自然観察、農業体験等を行う、④五感を使って学び、体験する、⑤先生以外の人々や専門家から直接学ぶ、⑥学校を離れる等の目標を持って行っています。	
(2) プログラムの概要	1、自然観察（引率型、オリエンテーリング型） 2、森のお掃除（森林整備） 3、工作（森で得られる自然材料を使った工作） 4、拡大スクリーン（顕微鏡、拡大ルーペの映像をスクリーに拡大する） 5、水辺の生き物調査 6、学習センター展示室等の案内・解説 等を学校側の要請、時間、生徒数、既に実施した環境体験学習の内容等を考慮して先生と打合せを行い決めている。	
(3) プログラムの展開		
時間数	プログラムタイトル	
	活動内容	指導・支援の方法、ポイント等（教材等）
	自然観察探検シートの作成	
	自然観察のポイントになる6カ所程度の質問型探検シートの作成し、生徒に持たせて簡単に感じたこと、新しい発見、驚いたこと等を記入させる。	スタッフからの一方的な説明、案内にならないように、生徒が自ら考え、発想し、疑問点を引き出すようにしている。
2	自然観察 公園に設置されているキツネの巣の模型、温度計等を活用するとともに、季節の移り変わりが分かる観察か所、学校の要請事項等を考えてポイントを選定して探検シートを作成する。	探検シートには必ず「驚いたこと、新しく発見したこと」等を記入できるようにしている。観察後のふりかえりの時間に生徒代表による発表を行っている。 なお、可能な限り五感で学び体験できるようなポイントを選定するように心がけている。 
1	工作 森から得られる小枝、木の実等の自然材料でネームプレート、森のくまさん、もっくん等の簡単な工作を行う。	自然材料を有効に使うことにより、森の楽しみ、面白さを体験させる。なお、団体学習のため危険なナイフや鋸は使用していない。 
1	森のお掃除 里山整備（森林整備）を体験したいとの学校からの要請により、小学生3年生には本格的な里山作りは難しく危険が伴うので、登山路（車道）沿いの森林の草刈（主としてササ）と枯れ木の林外持ち出しを体験させている。	草刈り、枯木の持ち出し後に森林が明るくなり、きれいになったことを生徒に説明して、花の咲く木や昆虫が増えることを教える。また、登山、ハイキングにくる人々が明るくなった森を見て、ほっとする様子を伝える。 



(4) プログラムでの連携内容 (①学校、②地域)

①教員との打ち合わせで自然観察の内容、工作の種類、生徒の障害・アレルギーの程度等の健康状況を聞くと共に観察ルートの下見を必ず行い、観察ポイントの確認、安全確認等を行う。また、既の実施した環境体験学習の内容を聞き、観察内容等との調整を図っている。

②県立公園内で行っているのもので地域との連携は特にありませんが、公園内で活動している他の団体や学習センターの職員等とは必要に応じて連携活動に取り組んでいます。

(5) 活動の分析 (学習指導要領との関連または森林環境教育の視点) 上位3項目

1 感性的	この学習の最大の目的は兵庫県では過去に悲しい事件が発生したことを契機に、自然の中に入り、自然体験を経験することにより自然に対する畏敬の念、命の大切さ・命のつながり、美しさに感動する豊かな心を持たせる。
2 自然的	森林内に設置されているキツネの巣の模型、温度計等の施設を有効活用するとともに、樹木、昆虫や小動物の生態を観察するとともに、グミ類の実の試食、クサキの葉の匂いをかかせる等出来るだけ五感を働かせるように学び体験する。また、大きな池に渡来するカモに係わり、カモの習性、渡り鳥、エサやりの禁止等について解説し、野生動物の保護について学ぶ。
3 多面的	森林の中にある大きな池(福島大池)の水はどこから来るのか、この水は何に使われているのか、人工林はどのようにして作られたのか等を指導し、森林と人とのかかわりについて学ぶ。

教科	項目	学習内容
社会 3年	農業用水を知る	有馬富士公園の森林の中にある福島大池の水は、周辺の森から集まった水で、森の水源涵養機能を学ぶ。また、この水が下流の農業用水に利用されていることを学び、森林、水の大切さを学ぶ。
理科 3年	自然(森林)観察	自然・森の大切さ、面白さ、不思議さ、厳しさを学び、命の大切さ、繋がりを体験させる。
図工 3年	工作	森から得られる木の実、葉っぱ、小枝等の自然材料を用いて、簡単な工作を行い、森の楽しさ、創作の面白さを体験させる。

(6) 活動の分析 (資質・能力の視点)

3 多面的	福島大池の水は、下流の農地を潤して豊かな農産物の収穫、美味しいお米や野菜を人々に供給していることを伝え、森や水の大切さを学び体験する。
4 コミュニケーション 5 協力	自然観察の一つとしてオリエンテーリング型の自然観察を取り入れているが、10名程度の生徒の班を作り、地図と探検シートを持って、班長が中心になり、班員全員でポイントを探し、待機しているスタッフの案内を聞き、さらに次のポイントを探して移動する。この自然観察は班員が相談しながらポイントを探すコミュニケーションと弱い友を助けながら歩くこと等の協力心を育てることにつながっている。また、班長が班員の意見をまとめる能力を育てる。

(7) 実施後、参加者の変化

有馬富士公園の自然を学び体験することにより、小さな虫から大きな樹木すべてが命を持ち、一生懸命生きていること、さらに自分たちの住んでいる街や学校付近の自然と有馬富士公園の自然の違い知り、街の小さな命、自然でも大切に心が育てられていると考えます。

また、森は人だけで無く、多くの生物のために大事にして保護しなければならないこと学んでもらっていると思います。

NPO 法人 キッピーフレンズ・環境体験学習ご案内



兵庫県立有馬富士公園



三田市有馬富士自然学習センター



新緑の森



カザグルマ

NPO 法人キッピーフレンズ案内

キッピーフレンズは平成 14 年 4 月に三田有馬富士学習センター展示交流員として設立、平成 18 年 7 月に特定非営利活動法人の認証を受け、翌年から学習センターの指定管理者に指名され、現在は第 3 期指定管理者として活動している。活動内容は施設管理、館者サービス業務、季節行事、環境学習、各種イベント等を行っている。会員数 50 名、年間イベント 220 件、年間来館者 11 万人

森の中に環境体験学習に適した施設が設置されており、学習効果を高めています。



スカイデッキ（高さ 5 m） きつねの模型のキツネノの巣 空中と地中の温度計

キッピーフレンズが行っている環境体験学習について

- *「環境体験学習」とは平成 19 年度から兵庫県内の全小学 3 年生が年間三日間、自然の中で「命の大切さ、繋がり」学び体験する環境体験事業
- *活動フィールドは兵庫県立有馬富士公園の森林、活動拠点は同公園内に設置している「三田市有馬富士自然学習センター」
- *実施しているプログラムは自然観察、水辺の生き物調査、森のお掃除、班の木調査、自然材料を使った工作等
- *自然観察は必ず「森の探検シート」を持って観察ポイントで学んだこと、発見した事、驚いたこと等を記入し、ふりかえりで発表します。
- *公園の森の中に、環境体験学習に適する施設が幾つかあり、学習の効果を高めています。
- *平成 26 年度は 13 校、平成 27 年度は 10 校を受託しています。

実施しているプログラム



自然観察



水辺の生き物調査



拡大スクリーン



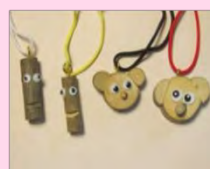
森のお掃除



学習で役に立つ看板



自然観察で持つ探検シート



自然材料で作る工作

環境体験学習の成果等

- *子ども達は森林学習を通じて命の大切さ、自然の面白さ・厳しさを学び体験することにより自然を尊ぶ心を育むと共に、人間と自然、自然と社会の繋がりを知る機会になっていると思います。
- *学校を離れ発対面のスタッフからの指導は子ども達に少々緊張感を持たせますが、学校生活にない経験を与えています。
- *昆虫に触れない子どもが恐々ですがやっとタッチできるようになった時のうれしい顔を見ると、スタッフ活動の疲れも癒されます。